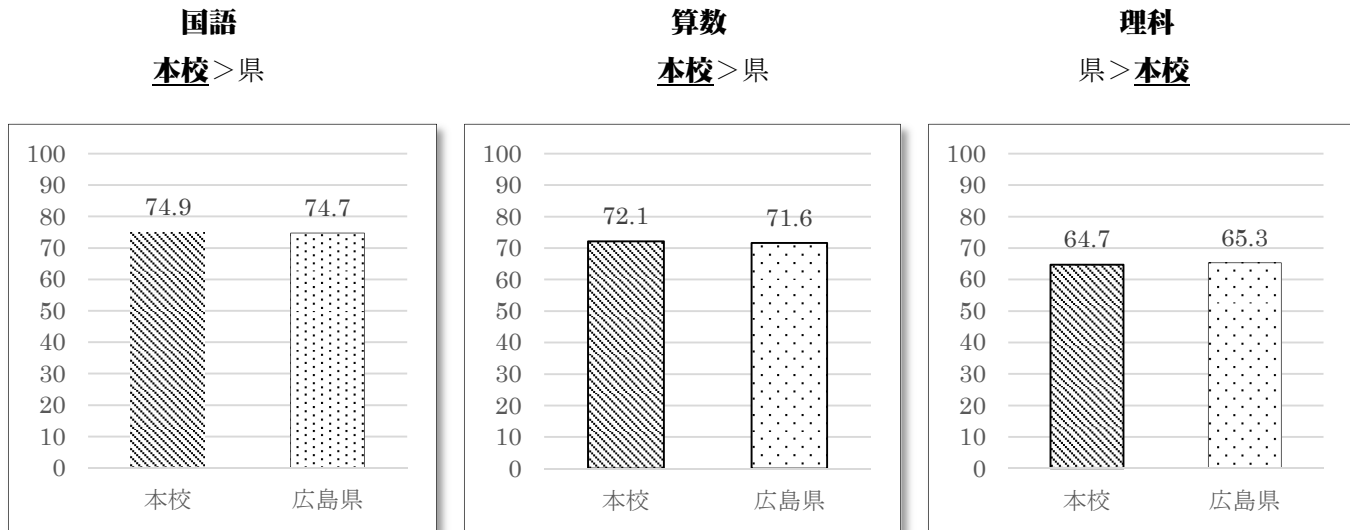


## ■広島県「基礎・基本」定着状況調査

(1) 趣旨：本調査は、毎年6月に第5学年を対象に実施している広島県独自の学力調査です。「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な知識・技能がどの程度身についているか、色々な情報を基に考える力や、自分の考えを表現する力がどの程度身についているかを調査するものです。

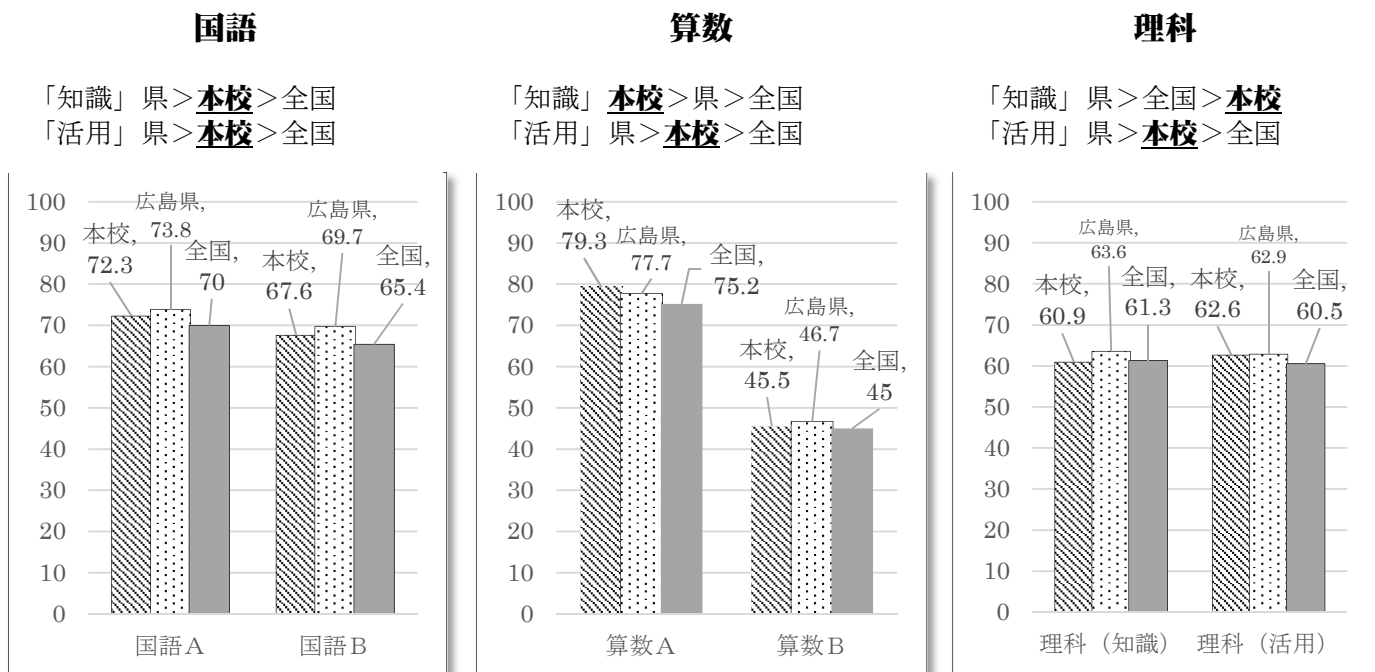
(2) 結果



## ■全国学力・学習状況調査

(1) 趣旨：本調査は、毎年4月に、義務教育の水準の維持向上を図るために第6学年を対象に実施している全国規模の学力調査です。調査内容は、主として「知識」に関する問題と主として「活用」に関する問題で構成されています。

(2) 結果



## ■学校が取り組む各教科の3ポイント改善

### 国語

- ① 新聞記事をはじめ、日常生活に関連した文章を題材に、構成を読み取る活動を重視します。
- ② 複数の資料から自分の目的に応じて情報を取り出し、まとめるなどの学習を展開します。
- ③ 文章の引用の仕方、事実と感想、意見を区別するなど、自らの考えを表現するための方法について指導します。

### 算数

- ① グラフや表を読み取る活動や日常生活と関連させた割合の考え方、概数の便利さなどを実感させる学習を展開します。
- ② 公式をもとに必要な数値を見出す活動を丁寧に指導します。
- ③ 本校が研究している誤答分析をもとにした教え直しを徹底し、個別の課題に対応します。

### 理科

- ① 問題に対して予想をし、「観察・実験」の結果を考察して結論を導く問題解決の学習を徹底します。
- ② 観察・実験の機会を増やし、結果をグラフや表に丁寧に記述する活動を重視します。
- ③ 学習内容を日常生活と関連させ、理科の学習の有用性を実感させます。



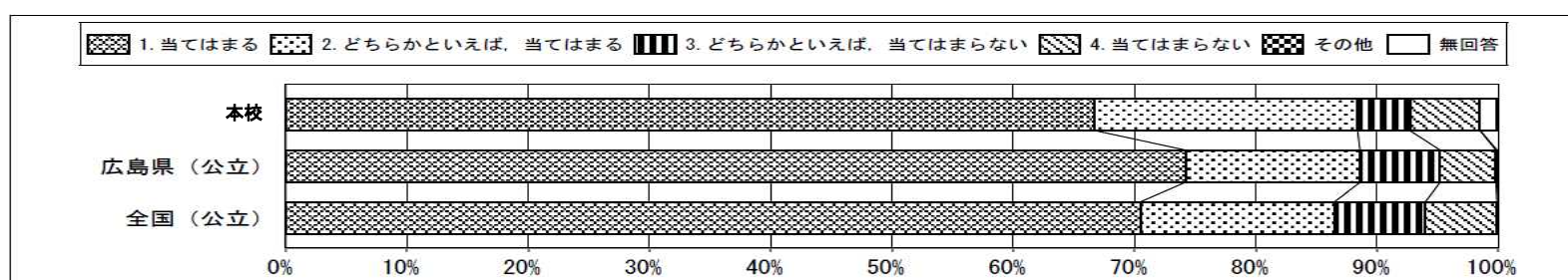
## 「学ぶ力」の土台をつくる

向東小学校では、「学ぶ力」の土台を作るために、次のことを大切にしています。①自分の将来の夢や目標を持っているということ、②自分で考えて、自分で決めているという感覚をもっていること、③やり遂げたという達成感を感じる経験があること、④自己肯定感をもっていること、です。

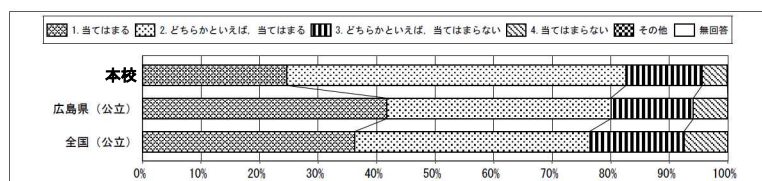
自分の将来の夢や目標を持っている児童は、自らの目標を達成するために「興味関心が低い場合でも」学習意欲が継続することが明らかになっています。また、自分で考えて、自分で決めたことを達成した経験をもつことができた児童は、自己肯定感を高めることができるようになります。そのためにも、良質の失敗経験は重要です。

学校でも「キャリア教育」として、一人一人の子供達が自分の将来についての夢や希望を持てるような教育を展開していますが、御家庭でも、様々な機会を捉えて、将来の夢や目標について考える機会をもつていただくことが「学ぶ力」の土台を作ることにつながります。

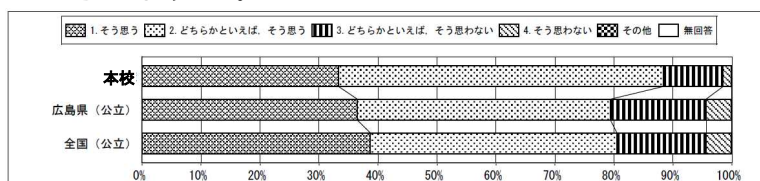
### Q 将来の夢や目標をもっていますか？



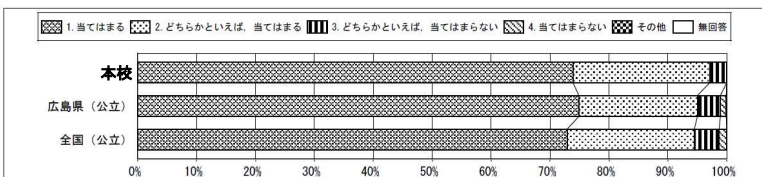
### Q 自分にはよいところがあると思いますか？



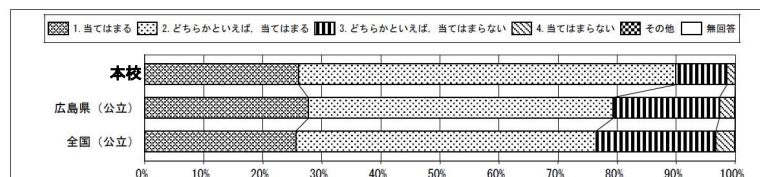
### Q あなたの学級では、学級会などの時間に友達同士で話し合って学級のきまりなどを決めていると思いますか？



### Q ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか？



### Q 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか？

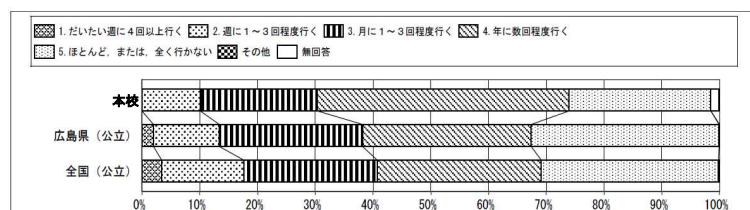


## 社会との接点

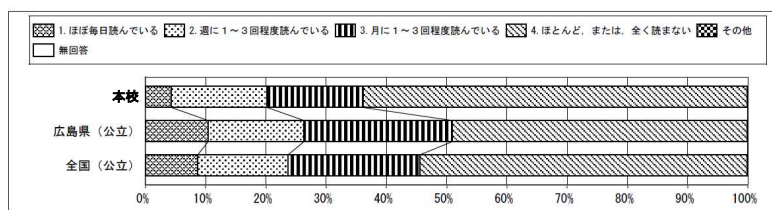
が、「学びの意味」を実感させます。

学校で学んだことが、自分の生活を豊かにしていることにつながっていることや、人々の生活に役立っていることを実感するためには、社会との接点を持つ機会が重要です。ゲームなどの仮想の世界だけに閉じこもることなく、体験、経験を充実させるためにも、家庭での過ごし方を考えてみることも大切です。

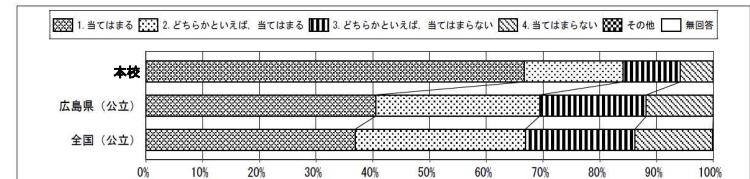
### Q 図書館にどれくらい行きますか？



### Q 新聞を読んでいますか？



### Q 今住んでいる地域の行事に参加していますか？



### Q テレビのニュースを見ますか？

